第6次川口市総合計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

１ 意見募集期間　　令和7年8月15日（金）から令和7年9月16日（火）まで
２ 意見提出者　　7 者（氏名なしを除く）
３ 意見　　14 件
４ 意見内容

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
1	1	序論	13	「今後も太陽光発電設備の設置やごみ処理施設の整備、環境学習広場の設置を進め、更なる再生可能エネルギーの確保やごみの減量推進、環境保全を行います。」 について、以下のとおり追記を提案する。 今後も太陽光発電設備の設置や**省エネルギー機器の導入および**ごみ処理施設の整備、～	いただいたご意見につきましては、「主な取り組み」や本市の環境分野の計画である「第3次川口市環境基本計画」においては個別目標として、また、「第2次川口市地球温暖化対策実行計画」においては目標達成に向けた施策として掲載しているため、原案のままとさせていただきます。
2	1	序論	22	「本市は令和4年3月に、「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2030年度までに温室効果ガス排出量を46％以上削減（平成25年度比）する中期目標を掲げており、太陽光発電設備・蓄電池・電気自動車などの導入支援、新設・改築の公共施設のZEB化の実行、カーボン・オフセットの取り組みなど、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが重要です。」 について、記載内容に賛同する。	ご意見ありがとうございます。今後も、ゼロカーボンシティに向けた取り組みを進めて参ります。
3	1	序論	23	「～防災・減災対策、災害復旧を見据えたまちづくりに取り組む一方、市民や事業者との連携体制の強化、地域での共助の仕組みづくりを進めるなど、災害に対するレジリエンスを向上させることが重要です。」 について、以下のとおり追記を提案する。 ～防災・減災対策、災害復旧を見据えたまちづくりに取り組む一方、市民や事業者との連携体制の強化、地域での共助の仕組みづくりを進めるなど、災害に対するレジリエンスを向上**には、エネルギーの多重化により非常時の電源を確保し、市民の安全と生活の継続性を確保する**ことが重要です。	災害に対するレジリエンスを向上させるための取り組みとして、エネルギーの多重化が有効な手段の一つであることは十分認識しております。しかしながら、ここでは具体的な取り組み内容ではなく、まずはレジリエンス向上が重要であることを説明させていただきたく、原案のままとさせていただきます。

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
4	2	序論	30	6まちづくりの考え方 (3)市民と行政の視点を踏まえたまちづくりの考え方 協働が「持続可能で自立したまち」にあるが、3大条例のひとつの協働がここにしかないのは、第6次川口市総合計画において良いのか。他の2つの条例も含めて、ここにある8つを包摂、内包するようになっていないとおかしなように思う。3大条例について触れてないこと自体に疑問を感じる。 その上で、2点記す。	「自立・自治体経営」や「協働」など、全体を包含するような施策は、該当箇所、序論6(3)の図表中、一番下の「持続可能で自立したまち」に位置付けているところですが、「協働」については、同図表の上から2番目「誰もがお互いを認め合い、安心して暮らせるまち」にも関連が強いことから追加いたします。
5	2	序論	30	1. 庁内における協働コーディネーターの専門的な育成の強化 川口市は、「人としごとが輝くしなやかでたくましい都市 川口」という将来都市像を掲げ、川口市協働推進条例において「協働の担い手を育成」することを定めているが、川口市協働推進委員会の審議では、「協働におけるコーディネート力の向上」が課題として明確に認識されている。 学校と市民活動団体の連携においても、「コーディネート力に課題がある」ことが第2回川口市協働推進委員会のアンケートから指摘されている。 市民活動団体が持つ意欲や専門性を効果的に地域課題の解決に繋げるためには、市役所内部に市民活動や地域団体との橋渡し役を担う専門性の高い協働コーディネーターが不可欠だということは自明であるため、協働推進条例の理念に基づき、各部署の職員が市民活動団体や地域団体との円滑な連携を促進できるよう、専門的な知識と実践的なスキルを持つコーディネーターを計画的かつ継続的に育成する取り組みを強化することを強く要望する。 これにより、個々の協働事業がより効果的に推進され、市民の活動がまちづくりに一層貢献できるようになる。 2. 企画経営課と協働推進課の連携強化 協働は協働推進課のみが行うかのような状況を打破していただきたい。 そのためにも、貴課と協働推進課との連携強化を願う。協働推進課は他の課に対して提案等がしづらいような印象を受けており、このことがコーディネーター育成はじめ、協働の取り組みがすすまないことの大きな理由のように思う。 重層的支援事業は親和性が高いように思うが、重点事業を決めていくのも良いのではないか。 企画経営課も同様に、第6次川口市総合計画策定で他の課とのやりとりは大変なことが多いのではないかと想像するが、連携強化で庁内の縦割りをなんとか打破していただき、第7次の計画策定の際は、コーディネーター育成など協働の取り組みが一定程度の評価を得られることを期待したい。	協働につきましては、協働推進条例では、多様な協働の担い手が知恵と力をともに出し合い、効果的に協働するための仕組みとルールを定めており、多様化するまちづくりの課題解決を進めているところでございます。市が市民など多様な主体とスムーズに連携が行われるよう、現在、かわぐち市民パートナーステーションとかわぐちボランティアセンターが中間支援組織となり、各主体とのネットワーク、コーディネイトなどの機能を持ち、情報やノウハウの提供を行っているところでございます。 今後におきましては、市職員の協働に関するさらなる理解・実施能力の向上が必要と考えます。このことから各部署の職員に対して、協働に関する研修や協働についての理解の定着、意識向上のための取り組みを行い、各部署の職員が協働コーディネーターとして、市民などの多様な主体との橋渡し役となるような仕組みづくりについても取り組んでまいります。 このような横断的な取り組みを通じて、全庁的な連携を強化し、重層的支援が可能となると考えております。

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
6	3	めざす姿Ⅰ 施策3	56	「誰もが役割と生きがいを持てる」という表現では、現在川口市では役割と生きがいを持っていない人が少なからず存在することが前提となるが、現在川口市民はすでにほぼ全員が「役割と生きがい」を持って生活している。 地域共生社会の実現はすべての市民を対象にしたいという意図は伝わってくるが、行政の都合によるパターナリズム的表現にとどまってしまっている。 もし「役割」と「生きがい」を使う場合は、「お互いの役割と生きがいを尊重し合う地域共生社会の実現」とするべきだと考える。	「誰もが役割と生きがいを持てる」という表現は、これからのまちづくりにおいて、市民一人ひとりがそれぞれの役割を感じ、そして生きがいを見つけられるような環境を整えることをめざしているものです。このことから、原案のままとさせていただきます。
7	4	めざす姿Ⅳ 施策2	70	「・文化財の展示やイベントを通じた魅力発信が重要になる中、展示施設や収蔵施設は老朽化が進んでおり、安全な利用のために施設の更新など、対応が必要です。」とあり、「展示・保管施設の老朽化と収容力不足に対応するため、既存施設の更新に向けた調査を進めます。」とあるが、郷土資料館、歴史自然資料館とも収容力・設備において著しく能力を欠いており川口の歴史の魅力を発信することは不可能である。 したがって既存の施設更新でなく、保管収容と展示が十分できる施設（博物館）に移転すべきと考える。 市内外の方が川口の歴史に触れて魅力を感じる施設に移転することを願う。新市庁舎が出来たことから、部署の整理で市の庁舎・施設を活用するなど、なるべくお金を掛けない方法を模索してはいかがか。川口市の歴史を俯瞰でき文化財を一つに保管できる施設、資料館ではなく博物館の新設が必要だと考える。市民の郷土愛の育成のために是非検討いただきたい。	市の文化財の展示・保管は複数の施設に分かれ、施設の老朽化が進み、バリアフリーにも対応していない状況です。 博物館は、資料の収集・保管・展示及び調査研究を行うとともに、市民の皆様が郷土の歴史を学び郷土愛を育むための場としての役割も担うものであると考えることから、収蔵機能も含め、必要な施設の在り方については、課題であると認識しております。
8	5	めざす姿Ⅳ 施策２ 単位施策③	70	単位施策の目標 「音楽イベントの開催を通して、川口の活性化、魅力向上及びコミュニティ形成を促進させます。」 といった音楽を活用した目標を示すことも重要と思われる。	ご意見いただいた音楽を活用した目標の趣旨も含めた表現としているところでございます。このことから、原案のままとさせていただきます。

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
9	6	－		【提案趣旨】 戸塚（東川口）エリアは市の北の玄関口として位置づけられていますが、住んでいる実感として街のポテンシャルを十分に活かしているとはいいがたい。 客観的に見ても、戸塚地区の一層の注力と発展は市内外へのシティセールスや川口市全体のブランド価値向上に直結すると考える。 （【具体的提案】については、意見番号10から13に記載） 【まとめ】 東川口の発展は単なる地域利便性の改善に留まらず、市全体のブランドイメージ向上や定住人口の増加、広域的な交流・経済効果の拡大ににつながるものと考える。 総合計画の中にぜひ「戸塚・東川口を活かす戦略」を組み込んでいただきたいと強く希望する。	各地域の施策につきましては、個別計画等において、地域特有の課題解決や拠点整備等に迅速かつ柔軟に対応するため、総合計画では「各地域のめざす方向性」などで示ししておりますことから、原案のままとさせていただきます。
10	6	－		【具体的提案】 1. 東川口駅を中心とした街づくり強化 　市内3位の乗降客数ながら、他の武蔵野線沿線と見比べても駅前の発展は見劣りする。 　在住者、在勤者だけでなく、将来の市民になりえるかもしれない学生も多く利用している。 　今回行政センターができたが、一層の賑わい創出のため、駅前の広場や遊休地へ、商業施設やイベントなどの誘致が必要である。 　残念ながら東川口エリアにはまとまりが感じられず、商店街や自治会も存在感が薄いため、ある程度行政の主導が望まれる。 　街の一体化につながる住民参加のイベントや学生起案の企画など、多額の経費を使わないでも方法はあるかと思う。	第6次川口市総合計画（案）では、めざす姿Ⅶ 施策1 単位施策④の単位施策の目標において、「各鉄道駅周辺は、適正な都市機能の誘導により、生活利便性の高い環境形成をめざします。」と位置づけております。 よって、この施策の実現に向け、ご提案の内容も貴重なご意見として真摯に受け止め、引き続き、東川口駅を中心としたまちづくり強化に向け、地域の皆様のご理解ご協力を得ながら、各種取り組みを進めて参ります。

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
11	6	-		2. 子育て・教育世代を呼び込む拠点整備 若いファミリー層が多く、今後の人口動態を考えても重要な定住促進エリアと考えられる。 公園・学習施設・子育て支援機能、そしてママたちが重視するおしゃれな街並みを強化することで、市全体の人口流入につながる。 綺麗な街並みと緑、そして利便性は京浜東北沿線とはまた違った魅力を持ち、市外からの流入者を増やす武器となるはずである。 人口予測では横ばいとなっているが、やりようによっては増加が見込める地域と考える。	ご意見のとおり、子育て・教育世代を呼び込む拠点整備は非常に重要な施策と考えております。 戸塚地区における子育て世帯のための拠点としては、公民館を活用した「おやこの遊びひろば」や保育所を活用した「地域子育て支援センター」、「戸塚児童センターあすぱる」など、複数整備しておりますが、今後も引き続き子育て関連施策の実施について検討して参ります。 また、街並みや緑地整備につきましては、めざす姿Ⅵ 施策1 単位施策② 主な取り組みとして、「植生や生態系に配慮した公園の整備を推進するほか、地域の公園については、市民と協力しながら維持管理を行い、緑地環境の保全を図ります。」と掲げておりますことから、ご意見にございます「ママたちが重視するおしゃれな街並みの強化」や「緑の魅力」などを踏まえ、川口市の魅力となるよう努めて参りたいと存じます。
12	6	-		3. 市の北の玄関口かつ広域交流のハブとしての利活用 埼玉高速鉄道の延伸議論や、武蔵野線の利便性強化を見据え、東川口を「南北・東西交通の交差点」として位置づける。 これにより川口市全体が広域ネットワークの中で存在感を高められる。 1とも重複しますが、埼スタでのイベント時など多数の人が利用するも、そのほとんどが通過して終わっているなどは本当にもったいないと感じる。	第6次川口市総合計画(案)では、めざす姿Ⅶ 施策2 単位施策②単位施策の目標において、「鉄道駅周辺における交通環境の改善、通勤・通学・買物などで更に利用しやすいバスネットワークの構築を図ります。」とし、また、「さらなる利便性の向上を目指し、関連する諸施策や、交通事業者などの関係者と連携を図りながら、持続可能な公共交通サービスの確保をめざします。」と位置づけております。 よって、この施策の実現に向け、ご提案の内容も貴重なご意見として真摯に受け止め、引き続き、市の北の玄関口としての東川口駅と周辺環境の一層の発展に向け、地域の皆様のご理解ご協力を得ながら、各種取り組みを進めて参ります。

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
13	6	－		4. シティセールスとの連動 市の総合計画や観光・産業プロモーションに「東川口」を積極的に組み込み、外部に発信が望まれる。 残念ながら行政や政治の目は川口駅周辺ばかりを見がちである。 川口駅周辺や東浦和・浦和美園など周辺の街とも差別化された魅力ある戸塚・東川口地区をもっとアピールすべきだと考える。	ご意見のとおり、利用者が多く再開発が進む川口駅周辺は、多くのかたから注目されております。一方、戸塚・東川口地区も、本市の北の玄関口としての高い交通利便性や豊かな自然環境など多くの魅力があると考えております。本市では、地域が持つ特色ある魅力を発掘し、市内外に発信することなどにより観光振興に取り組んでおり、昨今急速に市街化が進行するなど多くのかたに魅力を感じていただいている戸塚・東川口地区などを含め、特定の地域に偏ることなく、それぞれの地域が持つ観光資源のPRに努めて参ります。
14	7	－		市内の道路で植木が野晒しで排水溝も落ち葉で酷い状況で、道路標識も木で見えない有様である。 昨今の異常気象で冠水が悪化する可能性がありそうで日々心配している。 川口市で対応して頂きたく連絡した。	該当の道路につきましては、担当課にお伝えし、現在対応中です。今後も災害リスクの軽減等、市民の安全安心な生活ができるよう努めてまいります。

意見番号	提出者番号	該当箇所	ページ	意見の主旨	市の考え方
				要件不備（氏名等記載なし）のため、別途掲載予定	
				現在の川口駅付近及び西川口駅付近（陸橋下等）の不法廃棄物やゴミ等の不衛生かつ不整備が目立ちます。 このような状態が街を更なる不健全さを誘発していると思われます。 また、川口駅から西川口駅までの西口線路側道はJRとの区分も不完全で雑草や雑木（道路にせり出し対面通行の妨げになっている）が環境や安全性に懸念があります。 その他駅周辺で後退用地の不整備（例えば、川口陸橋横の側道など側溝がなく後退用地がまったく整備されていない）の路地がかなり目立ちます。 市役所等立派な物を作る前に未整備な道路や環境を健全化することが優先されることが、健全な街づくり、すなわち市を向上させる事につながるのでは、ないでしょうか。 PS.ゴミが落ちている町はゴミが捨てやすいから町が汚れるそして、不健全な街になり、整備された町はゴミを捨てにくいからきれいで健全な町が発展するのでは、ないでしょうか。 市内の中途半端な区画整備を健全整備していただきたくお願いいたします。	別枠（要件不備）として、意見のみ掲載